

無料の出前講座



「認知症サポーター養成講座」

～あなたも認知症サポーターになりませんか？～

尊厳をもって最期まで自分らしくいたい

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気に起因するものです。厚生労働省によると、全国で認知症の人の数は、平成37年には700万人前後、高齢者の5人に1人の割合になると予想されています。遊佐町においても、75歳以上の後期高齢者の増加に伴い、認知症高齢者数はますます増えることが予想されます。

認知症になっても安心して暮らせるまちは、「誰もが暮らしやすいまち」でもあります。認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」である「認知症サポーター」の養成を通じて、福祉のまちづくりをご一緒にすすめてまいりましょう。

認知症の人の「杖」になる

- ・「認知症の人は何もわからない、何もできない」は間違いです。認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。
- ・周囲の人が、認知症の病気を理解し、その人ができない部分を補う「杖」となれば、自分でやれることも増え、おだやかに暮らしていくことができます。
- ・偏見という心のバリアをなくし、一人でも多くの「人間杖」を増やしていくことが重要です。



認知症サポーターとは

- ・何か特別なことをする人ではありません。
- ・認知症の正しい理解、認知症の人の行動や心理、支援や対応する際の心配りなどを学習し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、ご自分で出来ることを、出来る範囲で活動します。

受講者には「認知症の人を支援する」という目印である「オレンジリング」を進呈します。



認知症サポーターになるには

*** 認知症サポーター養成講座 ***

講師	認知症キャラバン・メイト (認知症の専門の研修を受けた人)
時間	1時間～1時間半くらい(時間の長さについてはご相談ください)
内容	講義形式や寸劇形式での講座となります。
受講申込み	5名以上からとなります。(ご了承ください)

※主催：遊佐町 ※実施機関：遊佐町地域包括支援センターゆうすい(受託事業)



【申込み・問合せ先】

TEL 71-2130 (遊佐町地域包括支援センターゆうすい)

(一般用)